



9月議会報告

三原じゅん子は通学定期、中学校給食、小児救急医療、乳幼児医療費諸問題を質問しました

こんにちは、三原じゅん子です。皆様のご支援を頂き、押し上げて頂きまして9月より議員として活動しています。新人研修から始まり、初めての事が続く毎日ですが、少しでも早く慣れ、そして勉強し身につけ、市民の暮らしを守るため頑張ります。これからもよろしくお願ひします。

三原のQ 通学バス定期保護者負担をどう思いますか 義務教育は無償という事をどう考えていますか

- すずらん台では、団地開発時に中学校用地などを住民が負担しているにもかかわらず中学校は建てられず、北中学校への通学に保護者は3年間で約13万円の負担を強いられています。兄弟で通学する家庭は大変な出費です。
- 津市では公共交通機関を利用する小中学校の通学費は全額補助です。伊賀市はスクールバスが運行しています。
- 最近子どもが標的になる事件が相次ぎ、国もスクールバスの検討を始めています。

兄弟分の負担が大変しかたなく親が送り迎えするはめに...

定期をなくしてまるまる買いなおし高額なのに...

三重交通の年間定期は一括で買ったら6万円もする落したりする事を思う手がだせない

こんな高額な負担をしないと義務教育を受けられないとはおかしなことです。

就学援助金を受けている人で、中学校から6キロ以上離れている人のみ通学費が支給されます。

すずらん台の場合、全地域のバス代は同一ですが住む所によって6キロ以上と以下になっており、通学費は支給される所とされない所があります。

名張市のA

生活困難な家庭には就学援助制度があります

三原のQ 中学校給食の実施を！

- 市長の公約です。
- 全国の8割の自治体で実施されています。
- 食育の観点から教育の一環です。
- 輸入材料や添加物の多いコンビニの弁当を買う生徒も多い。
- 昼食を食べない生徒もいる。
- おいしく、温かい給食は空腹を満たすだけでなく、心の栄養です。

教育費や住宅ローンで母親も働かなくてはやっていけない早出や交代勤務でお弁当がどうしても作れない時がある

以前住んでいた所は中学校給食は当たり前だからといって親の愛情不足など考えたこともない

温かい給食を食べたい！

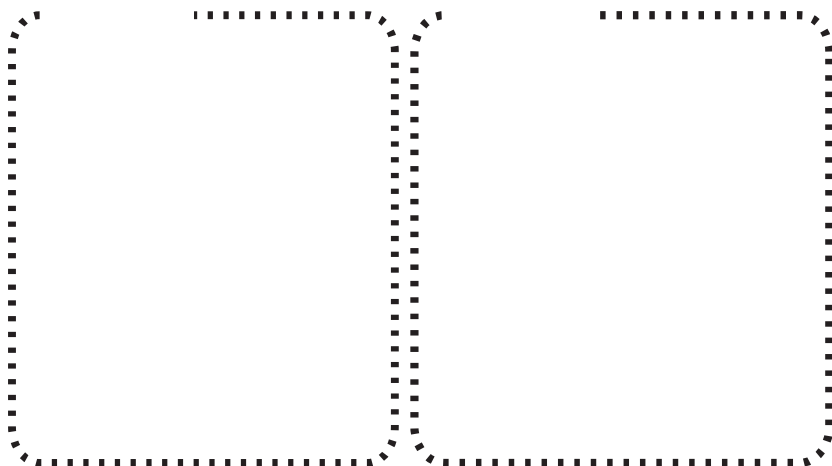
名張市のA

中学生には愛情弁当を作ってほしい
用意できない家庭には注文弁当を用意している
注文弁当の安定した運営を目指している
自校給食やセンター給食にするにはスペースがない
中学校給食は教育の一環だが長期的課題

親の愛情で全て解決できるのでしょうか。

行政は弁当業者の安定した運営を求めるよりも愛情をもって安心安全な給食の提供を求めてください。

- 急な発熱、ぜんそくの発作やけが等子どもの病気は待たなしです。子どもの命と健康を守るため、小児科時間外救急を早期に実現して欲しい！



- 3才までの医療費は無料だが4～5才児は入院費のみ無料になっている。しかもっとも多いのは通院だし、入院の前後も通院がある。
- 雇用形態が変化し、非正規就労が

- 名張市では非常に安価な修繕や建築工事でも、入札や随意契約で発注されています。小規模修繕工事登録制度は公共事業の入札に参加できない小規模の業者に登録してもらい、自治体の裁量で発注していくものです。
- 実際の入札は大手企業が落札し、市外、県外の下請けへ地元の税金が流れていっている状況です。地元小規模業者にも仕事をまわすため、ぜひこの制度を名張でも取り入れてください。
- 三重県では松阪市、鈴鹿市、伊勢市で実施。全国では328自治体が実施しています。



11月16日に、日本共産党の地方議員で2007年度三重県の予算編成に対する提案・要望のため、対県交渉をしました。乳幼児医療費や子どもの教育、雇用、介護保険など、暮らしに関わる事を要望しました。